



2022年10月19日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン ト ラ ス ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 桑 原 豊
(コード番号：7191 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 太 田 博 之
(TEL:03-5213-0250)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の第2四半期(累計)業績予想及び通期業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,960	百万円 695	百万円 690	百万円 430	円 銭 19.23
今回修正予想(B)	2,990	773	771	478	21.40
増 減 額 (B - A)	30	78	81	48	—
増 減 率 (%)	1.0	11.4	11.8	11.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	2,356	585	587	378	16.95

(2) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,200	百万円 1,450	百万円 1,450	百万円 910	円 銭 40.70
今回修正予想(B)	6,230	1,530	1,530	955	42.71
増 減 額 (B - A)	30	80	80	45	—
増 減 率 (%)	0.5	5.5	5.5	4.9	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	4,943	1,184	1,179	779	34.88

(3) 修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、売上高に関しましては、概ね想定通りに推移し、保証事業につきましては、家賃債務保証の新規契約数が順調に推移したことを受け、保証事業の売上高は対計画比3.5%増の2,173百万円となる見込であります。また、ソリューション事業につきましては、保証事業へのシフトが想定よりも進み、ソリューション事業の売上高は、対計画比4.9%減の817百万円となる見込であります。

損益面につきましては、家賃債務保証契約の増加に伴い貸倒費用が想定よりも多く推移したものの、業務委託手数料が想定よりも抑えられたほか、業務効率の向上等により人件費等が抑制されたことなどにより、費用が計画に対して削減され、営業利益、経常利益及び四半期純利益についても、当初計画を上回る見込みとなりました。

また、通期業績予想に関しましては、上期の進捗を反映した結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益について、当初計画を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	6円50銭	6円50銭	13円00銭
今回修正予想	7円00銭	6円50銭	13円50銭
当期実績			
前期実績 (2022年3月期)	6円00銭	6円00銭	12円00銭

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績と連動した安定的な配当を継続していくことを基本方針とし、配当性向30%~40%を目標として掲げております。

この方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当たり6円50銭としておりましたが、業績が順調に推移していることが確認できたことから、中間配当予想を1株当たり6円50銭から7円に修正いたします。

この結果、当期の年間配当金は、期末配当予想6円50銭と合わせ前期実績から1円50銭増配の1株当たり13円50銭を予定しております。

(注)本資料に記載されている業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上